

◆ 高校最初の夏休みを有意義に！

学びとは授業だけではありませんし、学びの場は学校や机の上だけではありません。感染症・熱中症対策には十分に留意しつつも、積極的に“外”へ（広義の）“学び”を求めて出かけましょう。

進路指導部からは、大学探訪・オープンキャンパス参加に関する宿題が出ています。志望する大学のオープンキャンパスに参加できれば一番いいのですが、要予約の場合が多く、参加できない可能性もあります。しかし、1年生でまず大切なのは、学問・学部（学科）研究です。どんな学問があるのか、その学問の面白みはどういうところにあるのか。それがどの学部（学科）で取り組むことができるのか、そしてどのような仕事に結び付いているのか——こうしたことを知るためならば、志望する大学に限る必要はありません。まずは知り、その上で志望する大学について調べてみる——こう考えれば、オープンキャンパスの利用の仕方に幅が出てくると思います。まずは大学に実際に行ってみることが大事です。行ってみてイメージが具体的にになると、その後の頑張り方も具体的にってきます。学問・学部研究も、大学探訪も、自分に代わって誰かがやってくれるものではありません。自分で考え、自分が行動しなければ話が進みません。「自分の大学入試は、自分が一番の専門家であれ」が基本です。

他にも、美術館・博物館（中棟 4F 社会科準備室の掲示板にいろいろ紹介しています）に行ってみたり、地域の行事に参加したり、友だちと遊びに行ったり、家族で遠出をしたり——色んな形・色んな場所で、新たな出会いや発見が得られます。部屋の中で動画を見続ける日々だけではもったいないです。

夏休みも「生野学習のスタンダード」を日々、

実行しながら、心身のリフレッシュも心掛け、くれぐれも生活リズムを崩さないよう、過ごしましょう。

◆ 夏休み中の学校の活動について

夏休み中も学校に来て文化祭準備の活動をするがあると思いますが、事前にどなたかの先生に付添いの依頼をし、了承を得てください。活動する日・時間帯・場所・内容及び活動人数（例：○組生徒△人といった形）が、付添い担当の先生に伝わっている状態で活動をしてください。学校が開いているからといって、生徒が勝手に来て、勝手に活動している状態は不可です（何らかの対応が必要なときに大変困ります）。

また、夏休み中といえども、学校のルールは変わりません。**登下校時は制服着用**です。私服やクラブジャージ等での登校は認めていません。自転車通学届をしていない生徒が自転車での登校することも不可です。**携帯電話・スマートフォンの使用基準も平常時と変わりません。16時50分までは校舎の内外を問わず、食堂も含めて使用禁止**です。部活動・文化祭準備等で使用を希望する場合は、その活動の付添い担当の先生の許可のもとに限り使用可能ですので、必ず事前に申し出てください。これらが守られていない場合、夏休み中であっても指導の対象となります。『学校生活のしおり』・「学校生活における遵守事項」（入学時に配付）と「夏休みを迎えるにあたって」（7/19配付）を精読しましょう。

◆ スマホとのつき合い方を再考しよう

7/8(月)からの午前中授業の11日間をふり返って、スマホ等の使用時間が増えてしまっていないませんか？ それ以前に、スマホやタ

タブレットの使用ルールを保護者と決めていますか？ もしルール不在で、かつ、この期間に使用時間が増えてしまっているならば、以後の夏休み期間にかなりの事態の悪化が予想されます(というか、ほぼ確定です)。

夏休みとは、授業がストップする期間です。だからこそ、4月～7月の学習内容の復習に努めて基礎固めに充てる期間であり、また、勉強とは別に“自分が進んでやってみたい！”と取り組むための期間でもあります。“進んでやってみたい！”は部活動かもしれないし、旅行や読書かもしれません。また、ボランティアや地域の活動への参加かもしれません。“皆さんの誰もが持っているであろう豊かなポテンシャルをより豊かにするために時間を費やしてほしい期間こそが夏休みであって、空白(実際にはやるべきことから逃避しているだけで、空白でさえないので)を埋めるためにスマホなどの画面を眺める期間ではないのです。スマホやタブレットを通じてアクセスするコンテンツの多くは常習性を伴います。何故、多くのコンテンツがアプリを通してアクセスするように勧められてしまうのか——それは通知を送るためであり、通知が来れば人は気になってアプリを開こうとする。そうやって、ユーザーの意識・注意をいかに調達するかが、「アテンション・エコノミー(人々の関心や注目の度合いが経済的価値を持ち、まるで貨幣のように交換材として機能する状況)」です。ぜひ手元の端末で調べてみてください。その環境下では、人は供給されたコンテンツをいかに消費するかという意識・行動に特化していき、より自分の好みにあったコンテンツを探すことに時間を費やします。レコメンド(お勧め)機能がもれなくついているのは、それを推し進めるためです。これが“スマホに使われる”という表現の具体的な内容です。こうした消費に時間や労力を費やしてしまうと、じっくりと考えてモノやコトを組み立てる機会を持たず、発想力や創造性を培うことができなくなります。10代後半～20代前半は本当に感受性が豊かで発想が自由で柔軟です。そうした、今しか伸ばせない力がある大切な時期を、スマホやタブレットに明け渡し

てほしくないという願いが、私たち教員にはあります。それが分かっているからこそ、ステイブ・ジョブズやビル・ゲイツは、自身の子どもにタブレットを持たせなかったり、厳しい使用制限をかけていたりもしたのです。

使用制限のよくある例として「子ども部屋でのスマホ使用禁止」が挙げられます。例えば22時以降はリビングで充電し自室に持ち込まないなど、具体的に端末に接さない時間を確保してください。

今夏にスマホの使用を見直せない人は、ほぼ間違いなく3年の夏になっても見直せません。「スマホを使うな」と言っているのではありません。「スマホに使われるな」の意味をよく理解し、振り回されない**自律的な夏休みを送ってください**。

◆「79期 自習・講習」について

各教科の夏休み課題の完成や、生活リズムの崩れの防止のためにも、夏休み中、上手に「**休日自習・講習(至誠ホール)**」を活用してください。また、**I ルーム**も上手に利用しましょう。

詳細は**7月18日の終礼連絡フォルダと学年 Classroom に掲載**しています。尚、夏休み期間中については、事前に参加申し込み Form への回答・返信は必要ありません。

◆ 当面の予定

- 7/19(金) オーストラリア語学研修(~7/31)
- 8/ 5(月) 校内留学(~8/9)
- 11(火) 学校閉庁日(~8/15)
- 19(月) 登校日(課題提出・文化祭 HR)
- 21(水) 全校集会/大掃除/A 金 4,5 授業
- 22(木) 宿題考査
- 24(土) 土曜学習日④(部活禁止)
- 29(木) SSH 探究Ⅱ 中間発表会
- 9/ 3(火) 880 万人訓練
- 7(土) 文化祭(~9/8)
- 9(月) 代休(~9/10)
- 12(木) プチベ③
- 19(木) 考査 1 週間前(部活禁止)
- 21(土) 土曜学習日⑤(部活禁止)